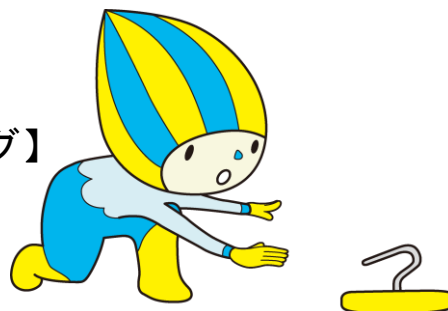


## ■ 北方町（きたがたちょう）

人口 18,486 人 面積 5.17 km<sup>2</sup>

【カローリング】



北方町は岐阜県の南西部、濃尾平野の北部に位置し、東は岐阜市、北西は本巣市、南は瑞穂市と隣接しています。

現在の人口は約 18,480 人、面積は 5.17 km<sup>2</sup>のコンパクトシティです。交通の面においては主要地方道で岐阜市や大垣市ともつながり、岐阜バスも 6 路線で他市町とつながるため、その立地条件からも名古屋市をはじめとする中京圏の住宅都市として発展しています。その結果として人口密度が 3,500 人を超える県内で一番高い町となっています。

現在は、にぎわいの創出や雇用の確保などを目的とした「南東部開発事業」や、教育力の向上を図るため小中一貫の義務教育学校の開校を目指す「北方学園構想」に取り組むなど、より住みよい町の実現に向けて各種施策を進めています。



北方町庁舎

## ■ 古きよき文化や伝統のまち

明治 22 年の町村制の実施に伴い北方町としてスタートして以来、130 年を経過し、古き伝統や歴史に育まれた文化の町です。その中でも空海が創建したとされる池鏡山円鏡寺は多くの文化財を保有しています。円鏡寺の楼門は国指定の重要文化財に指定されています。



上梁銘によると、永仁 2 年（1296）に 92 代伏見天皇の命で創建されたとされ、現在でも鎌倉期の特徴が

現れています。勾配の緩やかな屋根と腰の均整が極めて優美に出来ていることで、明治神宮南楼門の建造に際してそのモデルとなりました。また、円鏡寺には、木造聖観音立像や木造不動明王立像（何れも平安期）、木造金剛力士像（鎌倉期）等、国の指定の重要文化財が数多く保管されています。



円鏡寺楼門